

伊藤恵 プロデュース

紀尾井ホールに
新しいピアノがやってきた!

Piano! Piano!! Piano!!!

新スタインウェイお披露目アンサンブルコンサート



©大杉集平

このたびは、紀尾井ホールの素晴らしい3台のピアノを使用した公演プログラムをプロデュースさせていただき、心からワクワクしています。

まず、スペシャル・ゲストにお招きしたエヴァ・ポプウォツカさんは、私の最も愛するピアニストで、世界最高峰のショパンのマズルカ弾きだと尊敬しています。そんな彼女から数年前に、是非連弾や2台ピアノを一緒にやりましょうと言っていただけなのですが、その夢がここに叶いました。

今や若手室内楽演奏家としてトップを走る津田裕也さん。その彼と武生音楽祭で意気投合し、一緒に活動も始めている鬼才、北村朋幹さん。そして、昨年のポーランドと今年4月のチェコのデュオコンクールで見事に優勝を果たした坂本姉妹——この素晴らしいメンバーとともに、紀尾井ホールに新しくデビューするピアノと、現在活躍している魅力的な2台のピアノとを合わせて、まるでオーケストラのようなさまざまな音色を繰り出すことが楽しみでなりません。

皆さまにピアノのゴージャスな魅力と、その可能性の豊かさをお楽しみいただけたら幸いです。

伊藤 恵



エヴァ・ポプウォツカ

今回、ラヴェル『ボレロ』を3台ピアノ版に編曲させていただきました。オーケストラはいつでも究極の憧れですが、そのために書かれた作品を編曲・演奏するのは、ピアノという楽器、そしてそれを扱う我々ピアニストにしか出来ない表現がどこかにあるはずと信じているからです。今回は3台のピアノに6人のピアニスト、それもこの上なく豪華な共演者の方々に恵まれ、合わせて12の手、つまり素晴らしい12の楽器のための編曲となりました。とても大きな信頼のもとに書かせていただきましたし、何よりこれから始まるリハーサルの中で、楽譜に命が吹き込まれ、当日のような“ボレロ”があらわれるのか、今からとても楽しみです。

北村朋幹



©TAKUMI JUN

尊敬する素晴らしいピアニストの皆さまとともに、この演奏会に出演させていただけることを心から楽しみにしています。姉妹で演奏する『ロンド』はショパンが唯一2台ピアノのために書いた作品であり、瑞々しく爽やかな対話がとても魅力的です。私たちににとって特別な思い入れのある曲でもあるので、美しいポーランドの地に思いを馳せて演奏できればと思います。3台12手による演奏では、ピアニスト6人で織りなす多彩で迫力のある音楽と、ピアノによるアンサンブルだからこそ表現できる繊細な響きを感じていただけましたら幸いです。

坂本姉妹 (彩&リサ)

3台ピアノを演奏するのは初めてでとても楽しみにしています。他にも、伊藤恵先生と師弟コンビでシューマンの『ピアノ四重奏曲(ブラームス編)』から第3楽章を演奏します。曲全体が素晴らしいのですが、特に第3楽章は特別で、深いところで対話ができ、心の中の大事なものが歌になって届く、そんな演奏ができればと思います。また、北村朋幹さんと『ラ・ヴァルス』で共演できるのが楽しみです。まるで魔法のような、華やかなこの曲を、ピアノ2台で色彩豊かに、皆さまの想像が掻き立てられる演奏ができればと思います。

津田裕也



©Christine Fiedler



©FUKAYA Yoshinobu/aura Y2

公演の詳細はこちら!
出演者メッセージ
リハーサルの様子なども
配信予定です!



プログラムは裏面をチェック

2019 7.12 (金) 19時

紀尾井ホール

チケットのご予約は
便利なウェブチケットで!

料金 S席 7,000円 A席 4,000円
U29 A席 2,000円

取扱 紀尾井ホールウェブチケット <http://www.kioi-hall.or.jp/tickets>
紀尾井ホールチケットセンター ☎ 03-3237-0061 (10-18時/日祝休)



主催 公益財団法人 日本製鉄文化財団 (東京都千代田区紀尾井町6番5号)